

令和8年度 福井県立金津高等学校スクールプラン

スクールミッション【使命】

地域の中核校として、また中高一貫教育校として、地域社会のリーダーとなる豊かな人間性と持続可能な社会の実現に必要な総合的思考力を兼ね備えた人材を育成する。
また、課題探究等を通して多様な他者と協働しながら新たな価値を創造する力を磨くとともに、地域との連携等によりふるさと福井の未来を見据えながら自らの人生観を広げ、その発展に貢献しようとする郷土愛を醸成する。

グラデュエーション・ポリシー【育てたい生徒像】

- 【自走】 自らの価値を認め、自ら人生を切り拓く力
自ら決め、自ら動き、目標達成に向けて行動をマネジメントできる生徒
- 【共創】 他者の価値観を認め、新たな価値を共に創る力
多様な仲間や他者を尊重し、対話を通して互いの強みを引き出し、新しい価値を生み出せる生徒
- 【探究】 物事の本質を捉え、自ら問いを深める力
事象の背景にある課題を見つけ出し、データ等をもとに問いを深められる生徒

1 教育課程・学習支援	2 生徒支援	3 進路支援	4 中高一貫教育	5 保健管理	6 開かれた学校づくり	7 読書支援	8 探究支援・情報支援
<p>生徒が目的意識を持ち、自ら課題を探究し、主体的・協働的に学ぶ態度の育成に努める。</p>	<p>特別活動や部活動の活性化を図り、豊かな人間性と主体的に活動する態度の育成に努める。</p>	<p>適切な情報提供によって生徒の進路意識の高揚を図り、地域との関わりを意識しながら自らの人生を主体的に切り開く態度の育成に努める。</p>	<p>中高連携クラスの生徒の課題発見・解決能力を育成するため、探究活動の機会を充実させ、その内容や取組について積極的に広報する。</p>	<p>健全な心身を育む生活習慣の確立、美化・環境保護に対する意識向上、および気がかりな生徒の把握とその支援に努める。</p>	<p>学校と保護者・地域社会との連携の強化および本校の特色のある教育活動の広報に努める。</p>	<p>学校図書館の環境整備を図り、資料活用の促進および読書活動の充実を促す。</p>	<p>生徒が課題探究に主体的に取り組めるよう、ICT活用やデータサイエンスに基づく分析・解決能力を磨き、批判的・協働的・創造的思考力の育成を通して、新たな価値を共創し自走できる諸能力を醸成する。</p>
<p>具体的取組 a 主体性・自立心・探究心を育てるために、他者と協働して学びを深め、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を高める学習活動の充実を図る。 目標：グループ活動や発表に意欲的に参加できたかについての各評価指数80%以上</p> <p>b 学習支援アプリ等を活用し、生徒が目的意識を持ち、自主的・自立的に学習時間や環境を調整する力を育成する。 目標：目的意識を持ち、主体的に学習時間や環境を調整することができたかについての各評価指数80%以上</p>	<p>具体的取組 a 生徒会、生活委員の主体的な啓蒙活動により、挨拶の励行、時間厳守、身だしなみなどの基本的な生活態度を育成する。 目標：先生や友人をはじめ学校内外の方々への挨拶を積極的にしているかについての評価指数90%以上</p> <p>b 学校行事やクラス活動、部活動などに積極的に取り組むとともに、各取組を生徒自身が管理運営できるように支援することで生徒の主体的な態度を育成し、リーダーを中心とした望ましい集団の形成を支援する。 目標：自分の役割を積極的にかつ主体的に行うことができたかについての評価指数90%以上</p> <p>c 生徒面談、アンケートによる情報収集を定期的に行い、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に対する教職員の意識をさらに高める。 目標：いじめ問題に対して正しく認識し、適切に対処できたかについての評価100%</p>	<p>具体的取組 a 進路行事の企画や模試の実施・分析・フィードバックを行い、主体的な進路選択ができる力を育むとともに進路意識の高揚を図る。 目標：生徒の進路意識の高揚とその実現に向けた取組についての評価指数85%以上</p> <p>b 「金高進路通信」および「進路だより保護者版」の発行、研修会の実施等を通して、生徒・保護者に適切な進路情報を提供する。 目標：生徒・保護者への進路情報提供についての評価指数75%以上</p>	<p>具体的取組 a 連携クラスの中学3年生および高校1年生の、課題発見・解決能力を育成するため、校外のアドバイザーの協力を得て、課題探究に関する研修を行う。 目標：連携クラスの生徒が、探究に関して主体的・意欲的に活動できたかについての各評価指数80%以上</p> <p>b 中高連携に関する事業内容や取組について、ホームページや広報紙等を活用して積極的に広報する。 目標：中学生およびその保護者・関係中学校教員等の、事業内容や取組に対する各評価指数90%以上</p>	<p>具体的取組 a 家庭と連携し、生徒が健康・体調管理に関する必要な情報を得て、自身の状況を踏まえながら適切な行動を選択できる力を育成する。 目標：生徒の健康管理についての評価指数80%以上</p> <p>b 美化委員会による環境チェックなどを通して、生徒一人ひとりが考え、振り返りながら主体的に環境美化に取り組む力を育成する。 目標：生徒の主体的な環境美化への取組についての評価指数80%以上</p> <p>c 教員対象の研修会等を通して、気がかりな生徒についての理解を深め、定期的な調査等で気がかりな生徒を把握し、確実に支援する。 目標：教職員の生徒一人ひとりに対する理解と支援についての評価指数100%</p>	<p>具体的取組 a PTAだよりやホームページを通して、本校の特色のある教育の取組がわかりやすいものになるように内容を充実させ、積極的に広報するとともに、保護者や地域社会と連携した活動を充実させる。 目標：学校教育活動への理解についての評価指数85%以上</p>	<p>具体的取組 a 朝読書をはじめとした読書活動に主体的に取り組むことができるように支援し、読書マナーの向上や図書室の利用促進を図る。 目標：生徒が、読書活動に積極的に取り組んでいるかどうかを示す評価指数85%以上</p> <p>b 生徒のニーズを把握し、魅力ある図書および資料の充実と利用環境の整備を進める。 目標：生徒が図書館の図書および資料について、満足をしているかどうかを示す評価指数80%以上</p>	<p>具体的取組 a ICT機器やデータサイエンスを活用して自らの仮説を論理的に検証し、その結果をもとに次の活動を自らマネジメントできるようにするために、ICT機器の効果的な活用を促す活動を設定する。 目標：ICT機器の活用に関する各評価指数80%以上</p> <p>b 事象の背景にある課題を多角的な視点で捉え、自ら問いを深められるようにするために、批判的思考を促す場面を設定する。 目標：批判的思考力の伸長に関する各評価指数65%以上</p> <p>c 多様な他者との対話を通して互いの強みを引き出し、新たな価値を共に創り出せるようにするために、協働的・創造的思考を促す場面を設定する。 目標：協働的・創造的思考力の伸長に関する各評価指数65%以上</p>

業務改善のための取組

- ・各教育活動の意義・目的を明らかにし、内容・方法の改善と精選を進める。
- ・正副担任、複数顧問の協力・分業と早出遅出勤務を推進する。
- ・各種会議を精選するとともに、各委員会を効率的に運営する。
- ・教職員から業務改善の実践事例（好事例）を募集し、全体で共有する。
- ・勤務時間外の外部からの電話については、保護者等の理解促進を図りながら緊急連絡フォームを設けて対応する。
- ・自動採点システム、学習支援ソフト等のICT活用を促進する。
- ・放課後活動定休日および長期休業中の学校閉庁日を積極的に活用し、積極的に休暇を取得する。年休10日以上、夏期休暇5日取得。

人権教育の推進

- ・教職員が多様性を深く理解し、個々の人格を尊重した関係性と生徒への指導支援が常となるよう人権意識を磨く。
- ・人権教育をはじめ各教科・特別活動等教育活動全体を通して、生徒・教職員共に人権意識を高め、個々を尊重する風土を醸成する。